

## 概要

Outline

本賞は、福岡県内外の企業・個人から、福岡県産品・サービス等のうち、次の要件を満たしているものの中から、市場性やオリジナリティの高いデザイン性に優れた商品を選定する。

### 開催趣旨

企業のデザイン力の向上と生活者のデザインマインドの高揚を目的に、中小企業者等が製造・販売する商品の中から、市場性を有しオリジナリティの高いデザイン性に優れた商品を表彰するもの。

### 開催日時

平成30年10月30日(火) 13:30～16:00 / 公開審査  
13:30～18:00 / 応募商品展示会  
平成30年10月31日(水) 10:00～15:00 / 応募商品展示会  
15:00～16:00 / 表彰式  
(各賞発表・審査講評)

### 会場

JR九州ホール  
(福岡市博多区博多駅中央街 1-1 JR博多シティ9F)

### 主催

福岡県・福岡県産業デザイン協議会

### 後援 (順不同)

九州旅客鉄道株式会社、西日本鉄道株式会社、RKB毎日放送、NHK福岡放送局、九州朝日放送、TNCテレビ西日本、TVQ九州放送、福岡放送、朝日新聞社、一般社団法人共同通信社、産経新聞社、西日本新聞社、日本経済新聞社西部支社、毎日新聞社、読売新聞社、株式会社井筒屋、株式会社岩田屋三越、株式会社東急ハンズ博多店、株式会社博多大丸、麻生建築&デザイン専門学校、九州産業大学、九州大学、西日本工業大学、専門学校日本デザイナー学院九州校、福岡デザイン専門学校、北九州総合デザイナー協会、一般社団法人九州アートディレクターズクラブ、公益社団法人日本インダストリアルデザイナー協会、公益社団法人日本インテリアデザイナー協会、一般社団法人日本空間デザイン協会、公益社団法人日本クラフトデザイン協会、公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会、公益社団法人日本サインデザイン協会、公益社団法人日本ジュエリーデザイナー協会、公益社団法人日本パッケージデザイン協会、ジェトロ福岡、一般社団法人九州北部信用金庫協会、福岡県商工会議所連合会、福岡県商工会連合会、一般社団法人福岡県中小企業家同友会、公益財団法人福岡県中小企業振興センター、福岡県中小企業団体中央会、北九州地域中小企業支援協議会、福岡地域中小企業支援協議会、筑後地域中小企業支援協議会、筑豊地域中小企業支援協議会

### 応募資格

日本国内に事業所等をおく、中小企業者又は小規模企業者等。

### 応募対象

日本国内において製造または販売する商品・サービス等のうち、次の要件を満たしているもの。

- ① 反復生産が可能なもの
- ② 概ね5年以内に開発されたもの
- ③ 現在販売中または今年度販売予定のもの

### 応募区分

- ④ **衣料・アクセサリ** / 衣服、バッグ、時計、貴金属など、身につけて使用するもの
- ⑤ **食品** / 食材や製法にこだわった飲食に関するもの
- ⑥ **健康・美容・福祉用品** / 健康グッズ、化粧品、医薬品、介護用品など身体に働きかけるもの
- ⑦ **生活雑貨・生活用品** / 生活用品、文具、玩具など、主に手に取って使用するもの
- ⑧ **家具・インテリア** / 家具、畳など置いて使用するもの、照明、カーテンなど空間を構成するもの
- ⑨ **産業・商業・公共空間機器** / OA機器、医療設備など事業活動や公共空間において使用するもの
- ⑩ **情報・サービス** / ソフトウェア、デジタルコンテンツなどサービスを提供するもの
- ⑪ **イベント・地域ビジネス** / スポーツイベント、地域行事・催事に関するもの



## 総評

General comment

第20回福岡デザインアワードの応募は、昨年度よりやや減少しましたが、これまで以上に意欲的で質の高い応募をいただきました。審査は、株式会社ディスカバー・ジャパン取締役 編集長・高橋俊宏氏をゲスト審査委員に招聘し、21名の委員によって行いました。「商品の市場性」「地域産業への影響力」「デザインの獨創性・新規性・先導性」の選定基準と、下記の審査観点のいずれかで優れたデザインを選定する方法で行いました。

- 伝統技術を活かすなど、地域に貢献している。
- ビジネスの可能性を広げ、その波及効果が大きい。
- 技術面や機能面が優れている。
- 地球環境にやさしい、生活福祉の向上につながる。
- 新しいライフスタイルを提案している。
- パッケージ等ユーザーとのインターフェイスに優れている。

書類審査の1次審査を経た、展示会場での2次審査では、非公開で実物、概要パネルなどによる投票方式の仮審査の後、8区分(衣料・アクセサリ、食品、健康・美容・福祉用品、生活雑貨・生活用品、家具・インテリア、産業・商業・公共空間機器、情報・サービス、イベント・地域活動)別に、詳細なヒアリングによる公開審査を実施しました。

仮審査結果に、公開審査で得られた応募商品等の知見などを加えた協議の結果、受賞候補42件を選出し、この中から最も優れた大賞を1件、特に優れた商品等6件の金賞、そして1件のディスカバー・ジャパン賞、34件の入賞、さらに流通部門賞3件がダブル受賞となりました。(内訳は表を参照)

受賞率では、産業・商業・公共空間機器が応募の半数が受賞しましたが、他は3割程度で全体の平均と同程度受賞です。そのため応募件数が多い、食品と生活雑貨・生活用品区分の受賞件数が多くなっています。特に、この2区分はオンリーワンのオリジナリティと完成度の高い商品が多く、大賞、金賞等の特別賞に多く受賞しました。大賞を射止めた、推奨される1日の乳酸菌摂取量約1千から1億個を20グラムで取ることができる手頃な健康漬物「乳酸菌ラブレ(京つけもの西利)」は、野菜と乳酸菌による腸内環境改善を謳う市場性の高い商品です。健康漬物に使われている多彩な野菜と乳酸菌の関係を、簡潔なパッケージデザインにより表現し、その使用方法と効果などをわかりやすく訴求しています。商材の持っている特性を「乳酸菌ラブレシリーズ」として、わかりやすく美しくコミュニケーションする、優れたトータルブランディングデザインであり、食品デザインの新たな方向性を提示し、わが国から世界に発信できる秀逸なデザインであることから、福岡県外応募として初めての受賞となりました。

大賞以外の講評は後述に委ねますが、特に金賞6件は、いずれも福岡の資源、素材などを地域で培ってきた技術を用いて、潔い独自の着眼点から魅力的で獨創性の高い商品等に結びつけた「福岡デザイン力」が今年も受賞しており、デザイン活用が福岡の地域産業と生

活文化を牽引する力となっていることを実感致しました。

デザイン活用は、ユーザーの立場に立って、より良い生活イメージを機能と感性の融合によって、作り手そして送り手としての商品や仕組みなどの物語を、具体的な“かたち”に可視化し、事業に結びつけることです。僅差で入賞に至らなかった企業も多くありましたが、それぞれ作り手のものづくりへの熱い想いが伝わる商品が多かったのが印象的です。次年度も、福岡そして日本から世界へ発信できる“地域のデザイン力”による日本創生に向けた多数の意欲的な応募を期待しております。

審査委員長 森田昌嗣

(九州大学 大学院 芸術工学研究院 教授)



部門別の応募数と受賞数 ※応募数は2次審査時点のものです。

応募区分	応募数	受賞数
④ 衣料・アクセサリ	14	4
⑤ 食品	40	14
⑥ 健康・美容・福祉用品	11	4
⑦ 生活雑貨・生活用品	31	11
⑧ 家具・インテリア	10	3
⑨ 産業・商業・公共空間機器	8	4
⑩ 情報・サービス	3	1
⑪ イベント・地域ビジネス	13	4
合計	130	45